

第10章 特別活動

第1 目標、評価の観点及びその趣旨等

1 目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の集団や自己の生活に関心をもち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする。	集団や社会の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。	集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解している。

3 内容のまとめり

特別活動においては、学習指導要領の内容の〔学級活動〕(1)、(2)、(3)、〔生徒会活動〕、〔学校行事〕(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を内容のまとめりとした。

第2 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項

〔学級活動〕

【学習指導要領の目標と内容】

1 目標

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

2 内容

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(1) 学級や学校の生活づくり

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 思春期の不安や悩みとその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

ウ 社会の一員としての自覚と責任

エ 男女相互の理解と協力

オ 望ましい人間関係の確立

カ ボランティア活動の意義の理解と参加

キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

ク 性的な発達への適応

ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成
- オ 主体的な進路の選択と将来設計

【学級活動（１）「学級や学校の生活づくり」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。	学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、集団におけるよりよい生活づくりなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。

【学級活動（２）「適応と成長及び健康安全」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

【学級活動（３）「学業と進路」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

〔生徒会活動〕

【学習指導要領の目標と内容】

１ 目 標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

２ 内 容

学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。

- (1) 生徒会の計画や運営
- (2) 異年齢集団による交流
- (3) 生徒の諸活動についての連絡調整

- (4) 学校行事への協力
- (5) ボランティア活動などの社会参加

【生徒会活動の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学校生活の充実と向上にかかわる諸問題に関心をもち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に生徒会の活動に取り組もうとしている。	生徒会の一員としての自覚と役割意識をもち、全校的な視野に立って諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践している。	生徒会活動の意義や組織、諸活動への参画の仕方などについて理解している。

【学校行事】

【学習指導要領の目標と内容】

1 目 標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 内 容

全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

(1) 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。

(2) 文化的行事

平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

(4) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業や進路にかかわる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。

【学校行事（1）「儀式的行事」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
行事を節目としたこれからの生活に関心をもち、学校や学年の一員として厳粛な雰囲気の中で儀式的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、新しい生活における自己の生き方や、集団の場における規律などについて考え、判断し、実践している。	儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方などについて理解している。

【学校行事（２）「文化的行事」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
文化や芸術，平素の学習活動などに関心をもち，互いの努力を認め合い，自己を伸ばそうとする意欲をもって，自主的，自律的に文化的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち，美しいものや優れたもの，自他のよさや自己の成長などについて考え，判断し，協同して実践している。	文化的行事の意義や，活動の仕方，発表や鑑賞の仕方などについて理解している。

【学校行事（３）「健康安全・体育的行事」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
心身の健全な発達や健康の保持増進，運動などに関心をもち，自主的，自律的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち，安全な行動，規律ある集団行動の仕方などについて考え，判断し，協同して実践している。	健康安全・体育的行事の意義や，心身の健康の保持増進，安全な生活，体力向上の方法などについて理解している。

【学校行事（４）「旅行・集団宿泊的行事」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自然や文化などに関心をもち，人間的な触れ合いや信頼関係を深め，自主的，自律的に旅行・集団宿泊的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち，平素と異なる生活環境の中での行動の在り方や人間としての生き方などについて考え，判断し，協同して実践している。	旅行・集団宿泊的行事の意義や，望ましい集団生活の在り方，公衆道徳などについて理解している。

【学校行事（５）「勤労生産・奉仕的行事」の評価規準に盛り込むべき事項】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
将来の社会人としての生き方や社会奉仕などに関心をもち，自主的，自律的に勤労生産・奉仕的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち，勤労や共に助け合って生きることの尊さ，人間としての生き方などについて考え，判断し，協同して実践している。	勤労生産・奉仕的行事の意義や，勤労及び職業，ボランティア活動などの社会奉仕の仕方などについて理解している。